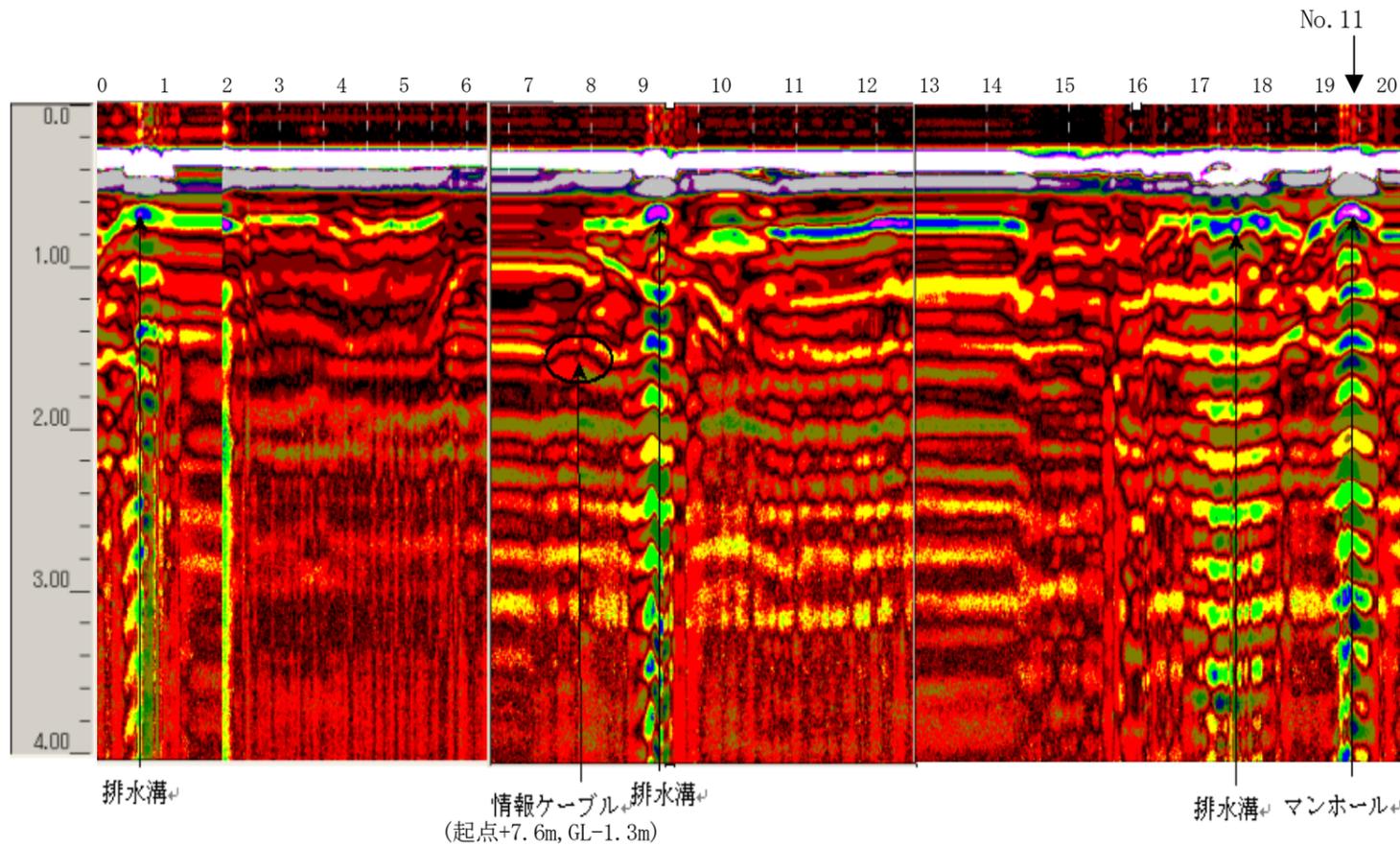


○GSSI 社製の SIR-3000K(アンテナ周波数 200MHz)による測定結果 (濃淡画像)



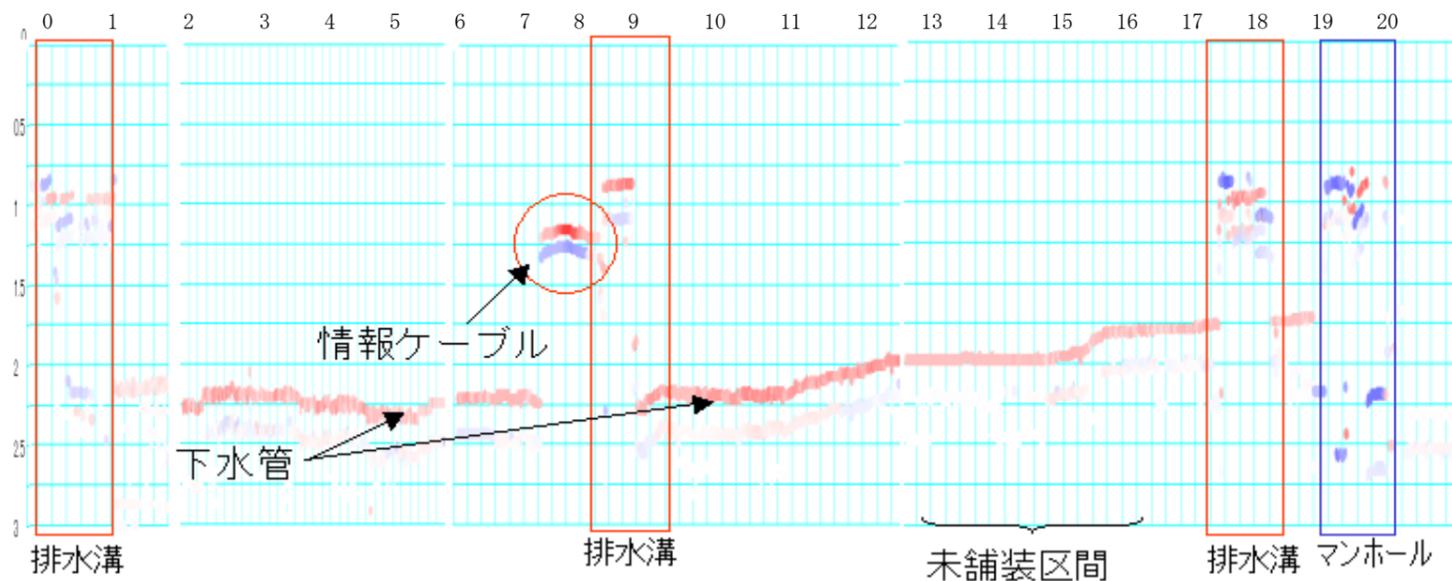
<探査結果の総括(200MHz)>

探査区間内において、今回の工事で埋設された下水管(下図参照)付近、あるいは下水管から道路面までの間に空洞等の問題となる映像は認められなかった。

なお、探査結果等から次のことが推察される。

- 1) GL-0.3m 以浅は舗装(アスファルト+砕石)である。
- 2) 起点+0.5m, 起点+9.2m, 起点+17.4m 付近に見られる異常映像は排水溝、No. 11 付近に見られる反射映像はマンホールによる影響である。
- 3) 起点+7.6m の GL-1.3m 付近に見られる凸型双曲線の反射映像は情報ケーブルである。なお、下図に示されている青色の凸型双曲線の反射映像は金属ケーブル、赤色の凸型双曲線の反射映像は金属ケーブルを被覆している塩ビ管である。
- 4) 起点+2m の GL-2.3m 付近から起点+19m の GL-1.7m 付近まで見られる赤色の反射映像は下水管(塩ビ管)である。なお下水管の埋設深度が起点+9m 付近から終点側に向かって浅くなっているのは、下水管は水平であっても路面が傾斜しているため相対的に路面からの反射深度が浅くなるからである。

○ GSSI 社製の SIR-3000K(アンテナ周波数 200MHz)による受信信号をもとに、山口大学 田中正吾研究室作成の信号伝播モデルにより解析した結果



地下レーダー探査装置

図-1 地下レーダー探査結果 (工事後)